

シンポジウム2

3月8日(水) 愛媛大学(城北キャンパス)・グリーンホール(A会場)

「生物の薬剤応答・抵抗性戦略から解き明かす農薬開発とシミュレーション技術の活用」

共催:農薬バイオサイエンス研究会

オーガナイザー:乾秀之(神戸大学遺伝子実験センター)

西脇寿(愛媛大学大学院)

開会挨拶	13:45-13:50
S301 Insect ryanodine receptors as molecular targets for diamide insecticides Bartek Troczka (Rothamsted Research)	13:50-14:20
S302 共生微生物が賦与する昆虫の農薬抵抗性 菊池義智(国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター)	14:20-14:50
S303 米国産タイヌビエにおける多剤抵抗性機構の解明に向けて 岩上哲史(京都大学大学院 農学研究科)	14:50-15:20
S304 ABA 内生量の上昇を誘導するセオブロキシド 松浦英幸(北海道大学大学院 農学研究院)	15:35-16:05
S305 受容体-リガンド複合体モデルとリガンドデザイン 石黒正路(新潟薬科大学 応用生命科学部)	16:05-16:35
閉会挨拶	16:35-16:40